

全腎協加盟組織 御中

一般社団法人 全国腎臓病協議会
会長 馬場 享

新型コロナウイルス感染症対策とインフルエンザについて

10 月 8 日付で、日本透析医会新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループより「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第 5 報)」が発表されました。

その中で、透析患者数と致死率についての記載がありました。「透析患者の致死率は 14.2% (38/258) であり、10 月 5 日時点の一般人口の致死率 1.9% (1,599/85,739) と比較して、非常に高率である。特に 70 歳以上の患者数は多く、致死率が非常に高率であり、高齢透析患者の感染を予防することが重要である。」と記載されています。

現在 G o T o トラベルキャンペーンが実施されており、東京都も対象となりました。休日などは、市中での人の移動が大変多くなってきています。航空機や鉄道などの乗車率も上がってきています。

引き続き、感染症対策へのご注意をお願いいたします。都道府県を越える移動や長距離の旅行などは極力控え、不要不急の外出は行わないようお願いします。

また、秋から冬にかけてインフルエンザの流行が懸念されます。インフルエンザ感染症対策については、日本透析医会の資料をご確認ください。

今後も油断することなく、引き続き感染症対策へのお取り組みをお願いします。

- ① 外出時や通院時などマスクを着用してください。
- ② 丁寧な手洗いとアルコール等による消毒、うがいをお願いします。
- ③ 不要不急の外出は避けてください。密閉・密集・密接の場も避けてください。
- ④ 毎日の体温測定と健康状態に注意してください。

発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、透析施設に必ず電話連絡をし、透析施設の指示に従ってください。

「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第 5 報)」

http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20201008_action_for_covid19_v5

※病院患者会・会員への周知徹底をお願い申し上げます。